

日本初等理科教育研究会は、昭和三十六年の発足以来、「問題解決」を根幹に据え、理科教育の在るべき姿を探究してまいりました。児童が自然の事物・現象に向き合い、自ら問題を見だし、観察、実験等を通して科学的に解決する——このような子供の営みを支えることを、本会では一貫して重視してまいりました。



本会は、全国各地に支部があることから、全国の支部長、事務局長、そして全会員とともに、理科授業の方向性を示す書籍や会報の刊行、授業実践に根ざした研修会の開催など、多面的な活動を積み重ねております。全国に支部を擁する本会だからこそ、各地で培われた研究成果をもち寄り、互いに磨き合いながら、理科教育の地平をさらに広く、深く切り拓くことが可能となっております。

これらの歩みを結実させた最新の成果として、2023年には『理科でつくるウェルビーイングー幸福で充実した人生を送るための学びー』（東洋館出版社）を刊行いたしました。本書でも述べておりますように、個々のウェルビーイングを実現し、それをいかに集団のウェルビーイングへとつなげていくかは、現代教育における重要な課題であります。本会の在り方そのものが、まさにその理念を体現するものであると深く認識しております。

さらに、2026年11月には、日本初等理科教育研究会全国大会北九州大会を開催いたします。昨年度のプレ大会においては、多くの示唆と学びを得ることができました。現在、北九州支部を中心にその成果を広く共有できる機会となるよう、研究を推進しているところです。多くの皆様の御参加を心よりお待ちしております。

本年度は、これまでの蓄積を踏まえ、「新たな価値を創造する理科学習」を研究主題として掲げ、研究活動および会報の発刊を進めてまいります。全国小学校理科研究協議会、ソニー科学教育研究会との三団体連携を継続し、理科教育研究のさらなる発展に寄与していく所存です。多くの皆様に御参加いただき、実りある交流の機会となることを願っております。

Well-being

日本初等理科教育研究会 理事長 舘英樹